

## 「安全なまちづくり」についてのアンケート結果

犯罪に遭うことなく、安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、県民の皆さんや関係機関等と連携して安全なまちづくりに関する施策に取り組んでいますが、防犯活動について、県民の皆さんがどういった意識を持っておられるかをお聞きし、今後の施策推進に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期 : 令和2年11月

★対象者 : 県政モニター399人

★回答数 : 352人(回収率88.2%)

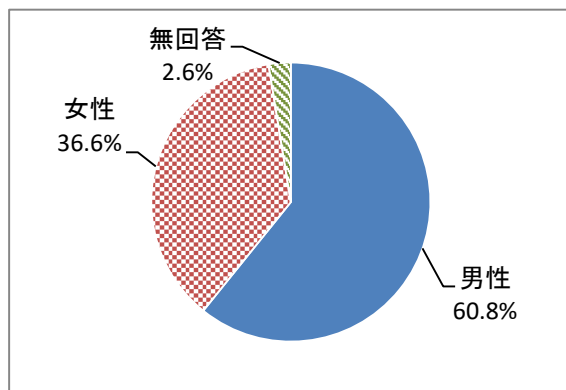
★担当課 : 総合企画部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

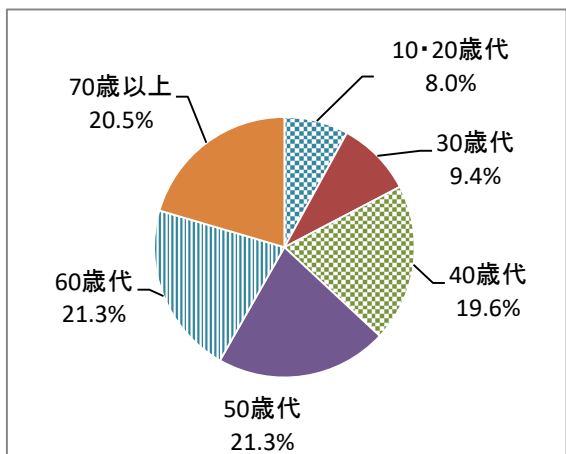
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	214	60.8
女性	129	36.6
無回答	9	2.6
合計	352	100.0



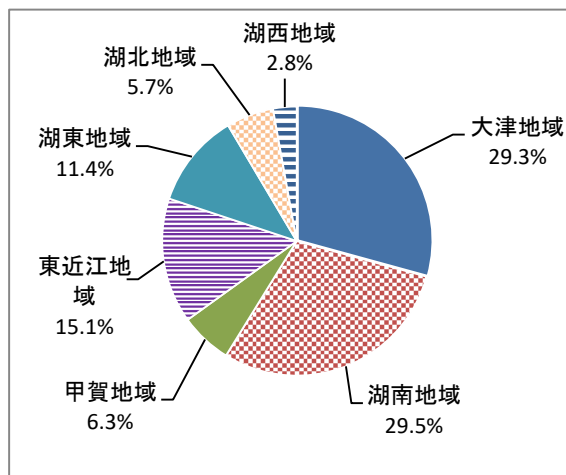
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	28	8.0
30歳代	33	9.4
40歳代	69	19.6
50歳代	75	21.3
60歳代	75	21.3
70歳以上	72	20.5
合計	352	100.0



#### ◆地域

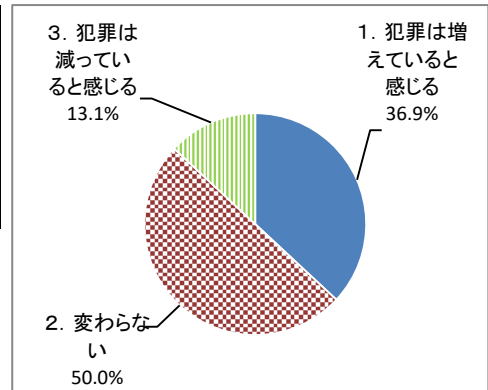
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	103	29.3
湖南地域	104	29.5
甲賀地域	22	6.3
東近江地域	53	15.1
湖東地域	40	11.4
湖北地域	20	5.7
湖西地域	10	2.8
合計	352	100.0



問1. 昨年(令和元年)1年間の滋賀県内における犯罪発生状況について、どう感じますか。

(回答チェックは1つだけ n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 犯罪は増えていると感じる	130	36.9
2. 変わらない	176	50.0
3. 犯罪は減っていると感じる	46	13.1
合計	352	100.0

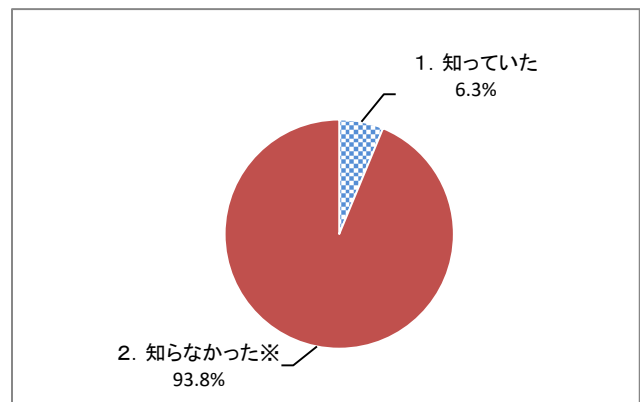


問2. 昨年(令和元年)1年間で、滋賀県内でおおよそ何件犯罪が発生しているか知っていましたか。

(回答チェックは1つだけ n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	22	6.3
2. 知らなかった※	330	93.8
合計	352	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



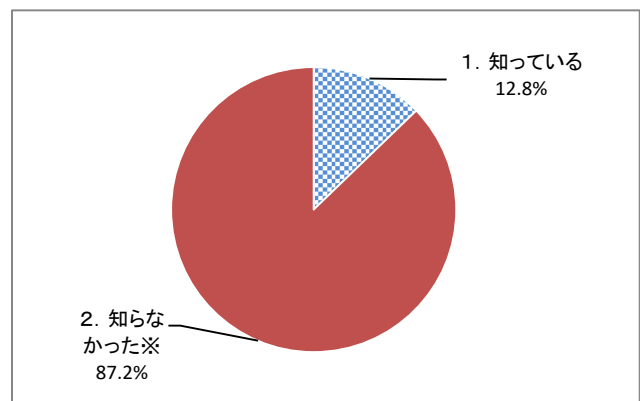
問3. 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議\*(会長:滋賀県知事)において、毎年、年間の犯罪抑止目標を設定していることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=352)

[令和2年の犯罪抑止目標:「治安の良さを実感できる社会を目指して!」~刑法犯認知件数6,000件以下、住宅侵入盗被害100件以下、特殊詐欺被害100件以下の再チャレンジ]

\*「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議とは、県・市町・県民・事業者等の92の機関・団体で構成されており、県民等が犯罪に遭うことなく、安全に安心して生き生きと暮らすことができる社会を実現するための取組を実践しています。

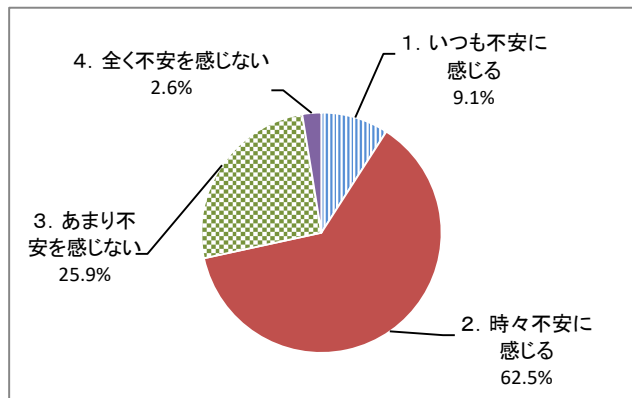
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	45	12.8
2. 知らなかった※	307	87.2
合計	352	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



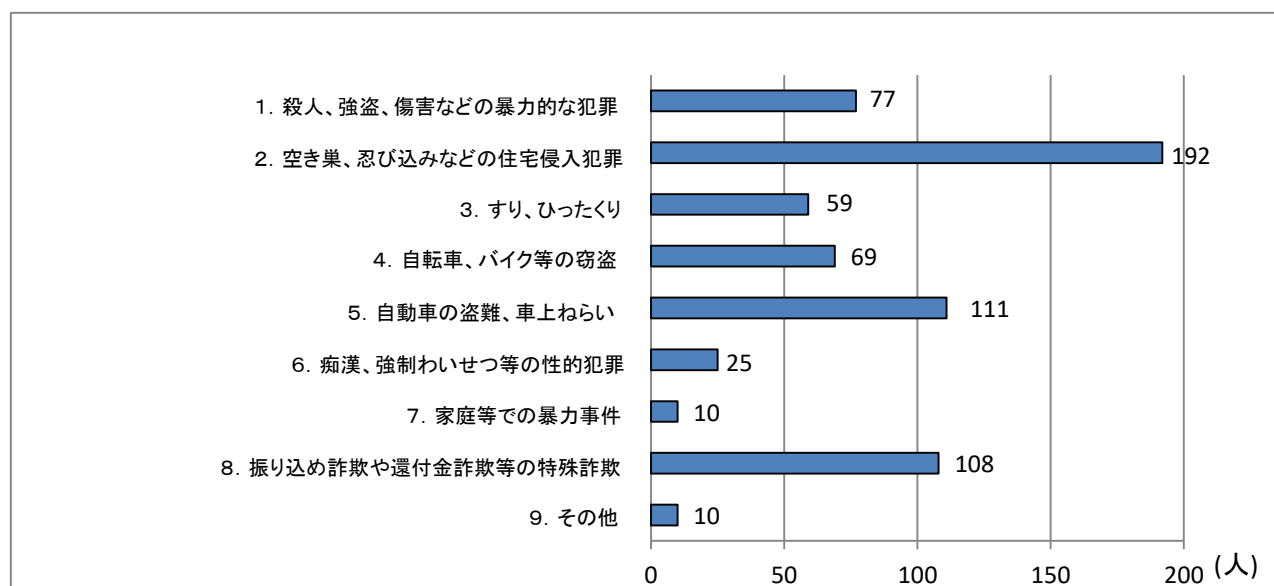
問4. あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じますか。  
 (回答チェックは1つだけ n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも不安を感じる	32	9.1
2. 時々不安を感じる	220	62.5
3. あまり不安を感じない	91	25.9
4. 全く不安を感じない	9	2.6
合計	352	100.0



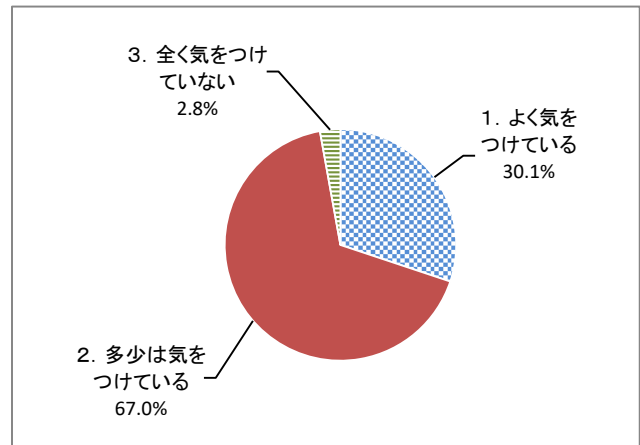
問5. 問4で「1. いつも不安を感じる」または「2. 時々不安を感じる」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような種類の犯罪に遭うのではないかと不安を感じていますか。(回答チェックは3つまで n=252)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	77	30.6
2. 空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	192	76.2
3. すり、ひったくり	59	23.4
4. 自転車、バイク等の窃盗	69	27.4
5. 自動車の盗難、車上ねらい	111	44.0
6. 痴漢、強制わいせつ等の性的犯罪	25	9.9
7. 家庭等での暴力事件	10	4.0
8. 振り込め詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺	108	42.9
9. その他	10	4.0



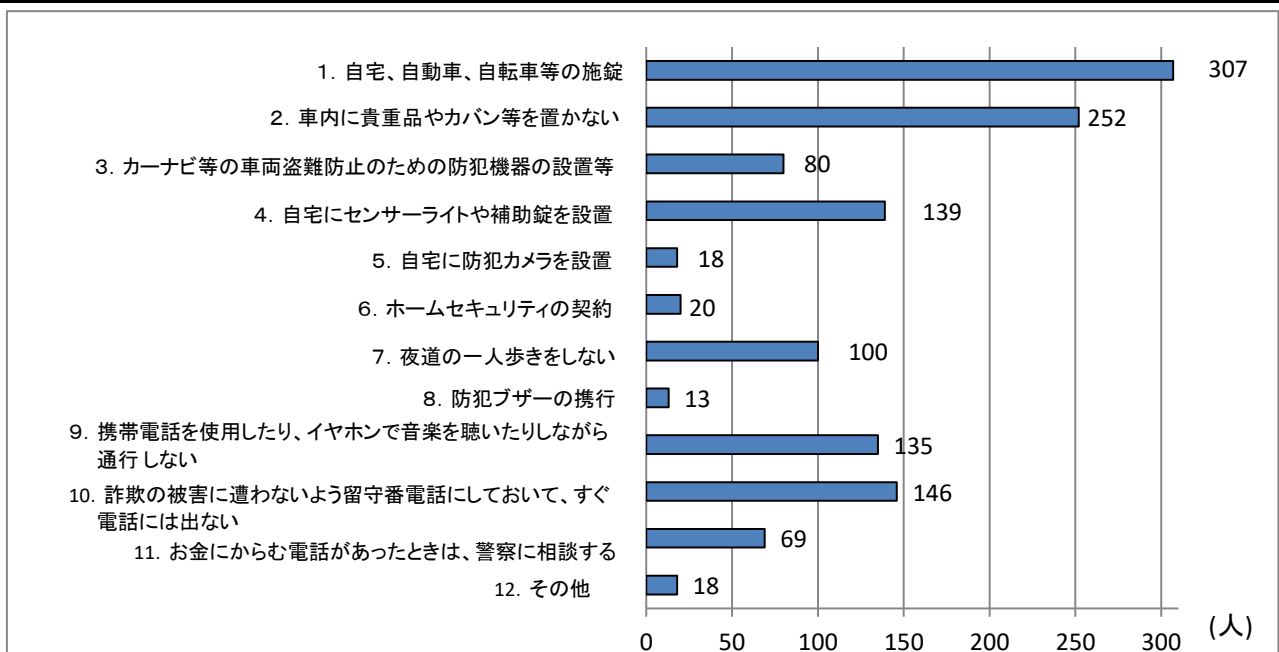
問6. 普段、あなたは家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(回答チェックは1つだけ n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. よく気をつけている	106	30.1
2. 多少は気をつけている	236	67.0
3. 全く気をつけていない	10	2.8
合計	352	100.0



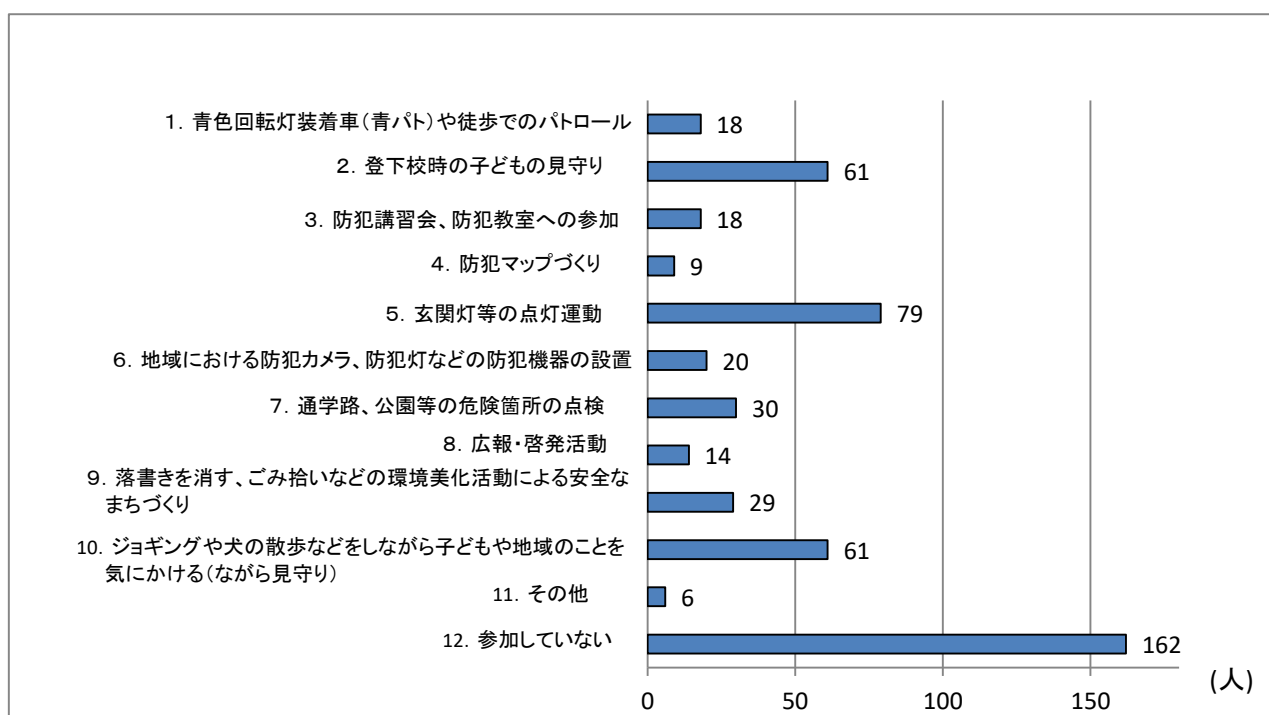
問7. 問6で「1. よく気をつけている」または「2. 多少は気をつけている」と回答された方にお尋ねします。あなたが、日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(回答チェックはいくつでも n=342)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅、自動車、自転車等の施錠	307	89.8
2. 車内に貴重品やカバン等を置かない	252	73.7
3. カーナビ等の車両盗難防止のための防犯機器の設置等	80	23.4
4. 自宅にセンサーライトや補助錠を設置	139	40.6
5. 自宅に防犯カメラを設置	18	5.3
6. ホームセキュリティの契約	20	5.8
7. 夜道の一人歩きをしない	100	29.2
8. 防犯ブザーの携行	13	3.8
9. 携帯電話を使用したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながら通行しない	135	39.5
10. 詐欺の被害に遭わないよう留守番電話にしておいて、すぐ電話には出ない	146	42.7
11. お金にからむ電話があったときは、警察に相談する	69	20.2
12. その他	18	5.3



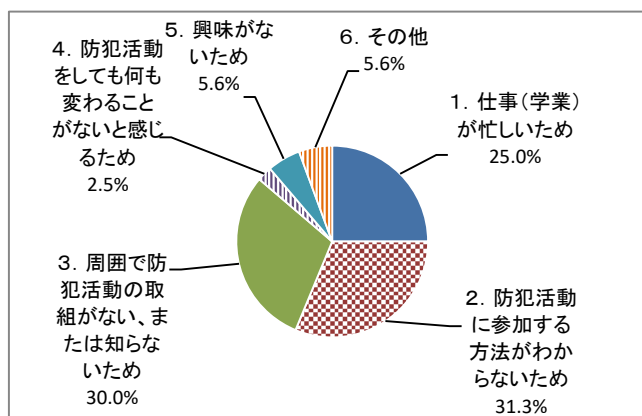
問8. あなたは、どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。  
 (回答チェックはいくつでも n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 青色回転灯装着車(青パト)や徒歩でのパトロール	18	5.1
2. 登下校時の子どもの見守り	61	17.3
3. 防犯講習会、防犯教室への参加	18	5.1
4. 防犯マップづくり	9	2.6
5. 玄関灯等の点灯運動	79	22.4
6. 地域における防犯カメラ、防犯灯などの防犯機器の設置	20	5.7
7. 通学路、公園等の危険箇所の点検	30	8.5
8. 広報・啓発活動	14	4.0
9. 落書きを消す、ごみ拾いなどの環境美化活動による安全なまちづくり	29	8.2
10. ジョギングや犬の散歩などをしながら子どもや地域のことを気にかける(ながら見守り)	61	17.3
11. その他	6	1.7
12. 参加していない	162	46.0



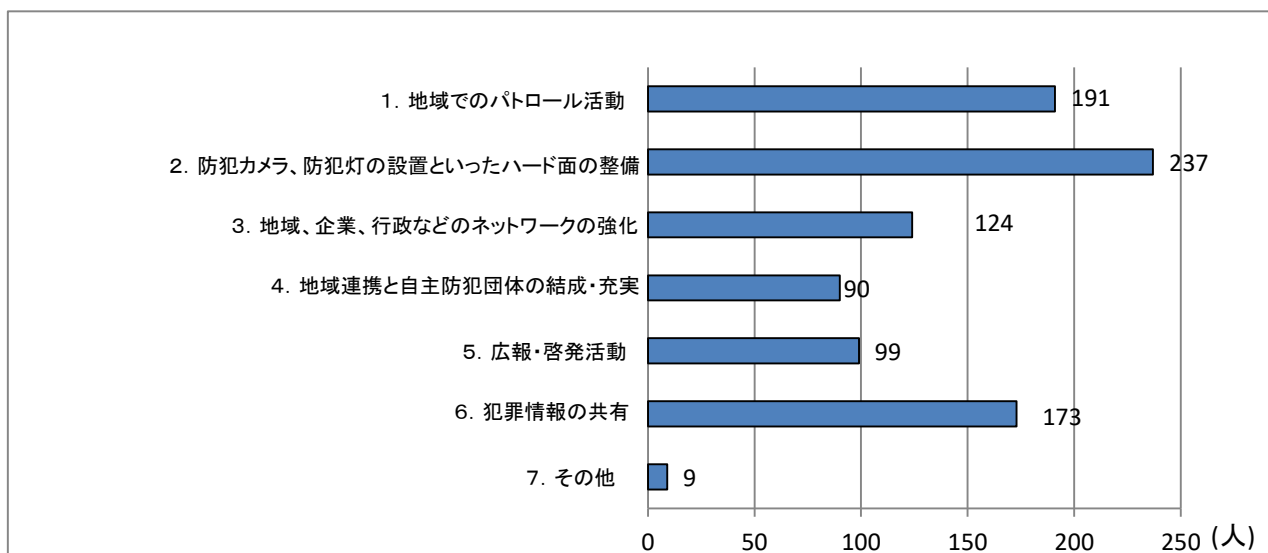
問9. 問8で「12. 参加していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが防犯活動に参加していない理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ n=160 無効2)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事(学業)が忙しいため	40	25.0
2. 防犯活動に参加する方法がわからないため	50	31.3
3. 周囲で防犯活動の取組がない、または知らないため	48	30.0
4. 防犯活動をしてても何も変わることがないと感じるため	4	2.5
5. 興味がな	9	5.6
6. その他	9	5.6
合計	160	100.0



問10. 今後望まれる地域による防犯対策の取組は、どのようなものですか。(回答チェックはいくつでも n=352)

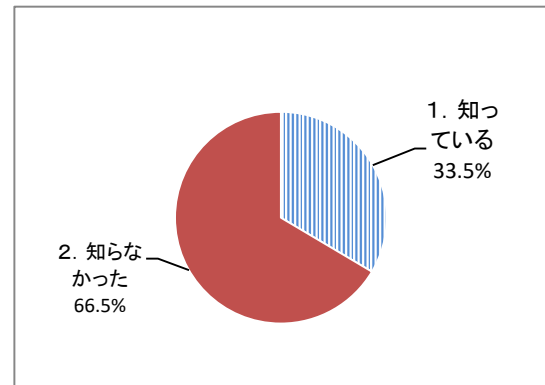
項目	人数(人)	割合(%)
1. 地域でのパトロール活動	191	54.3
2. 防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備	237	67.3
3. 地域、企業、行政などのネットワークの強化	124	35.2
4. 地域連携と自主防犯団体の結成・充実	90	25.6
5. 広報・啓発活動	99	28.1
6. 犯罪情報の共有	173	49.1
7. その他	9	2.6



問11. 県民の皆さんが犯罪の被害に遭わないよう、県・市町・県民・事業者等が協働し、目に見える防犯啓発活動を駅や大型店舗等の街頭において実施しているのを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=352)

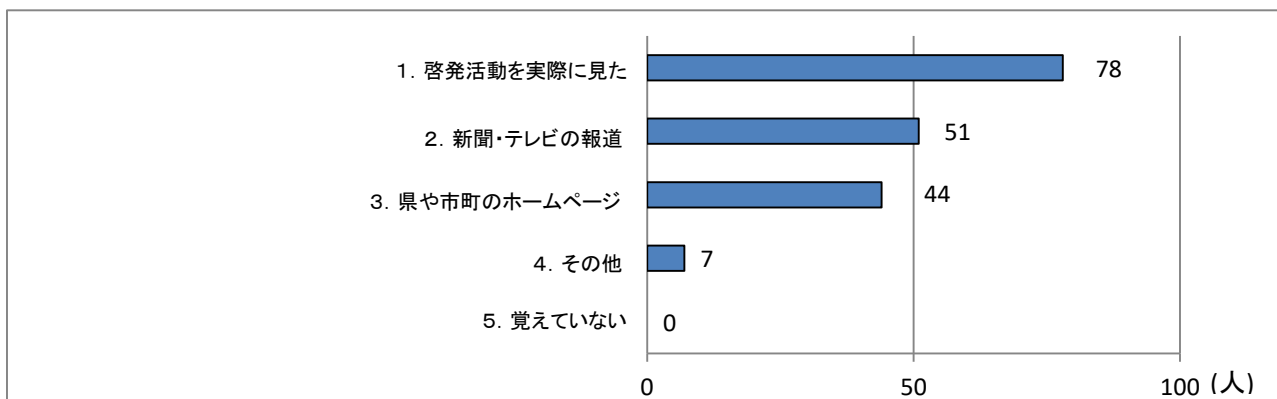
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	118	33.5
2. 知らなかった	234	66.5
合計	352	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



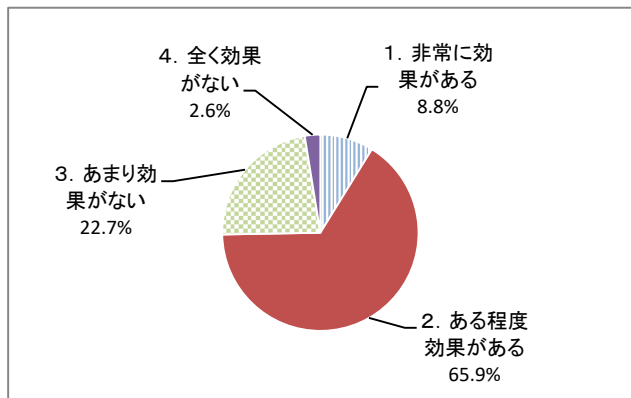
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。あなたは、防犯啓発活動を実施していることを何で知りましたか。(「5. 覚えていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=118)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 啓発活動を実際に見た	78	66.1
2. 新聞・テレビの報道	51	43.2
3. 県や市町のホームページ	44	37.3
4. その他	7	5.9
5. 覚えていない	0	0.0



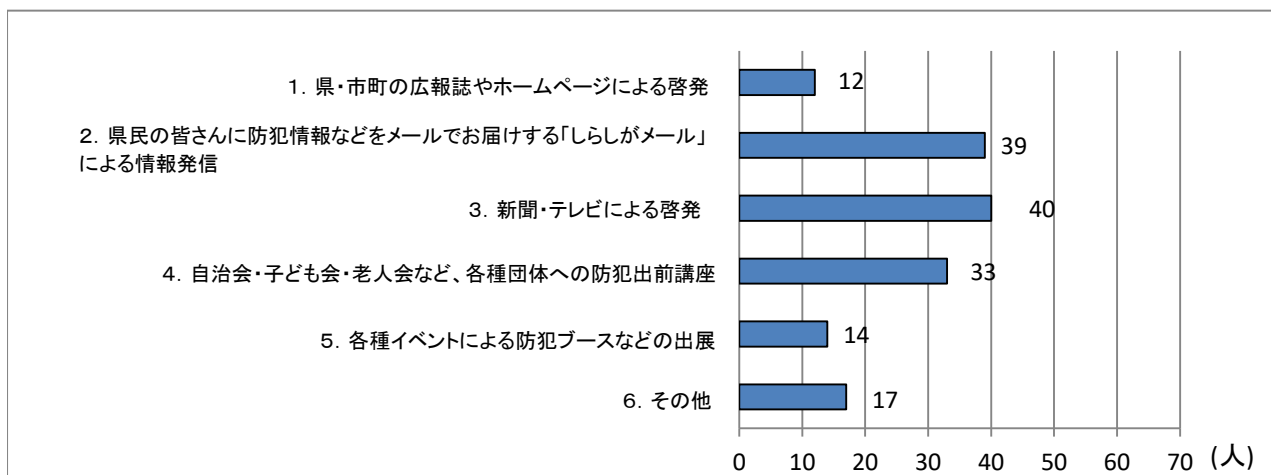
問13. 街頭や大型店舗等でのチラシ配布による啓発活動は、効果があると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に効果がある	31	8.8
2. ある程度効果がある	232	65.9
3. あまり効果がない	80	22.7
4. 全く効果がない	9	2.6
合計	352	100.0



問14. 問13で「3. あまり効果がない」または「4. 全く効果がない」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような啓発であれば効果があると思いますか。(回答チェックはいくつでも n=89)

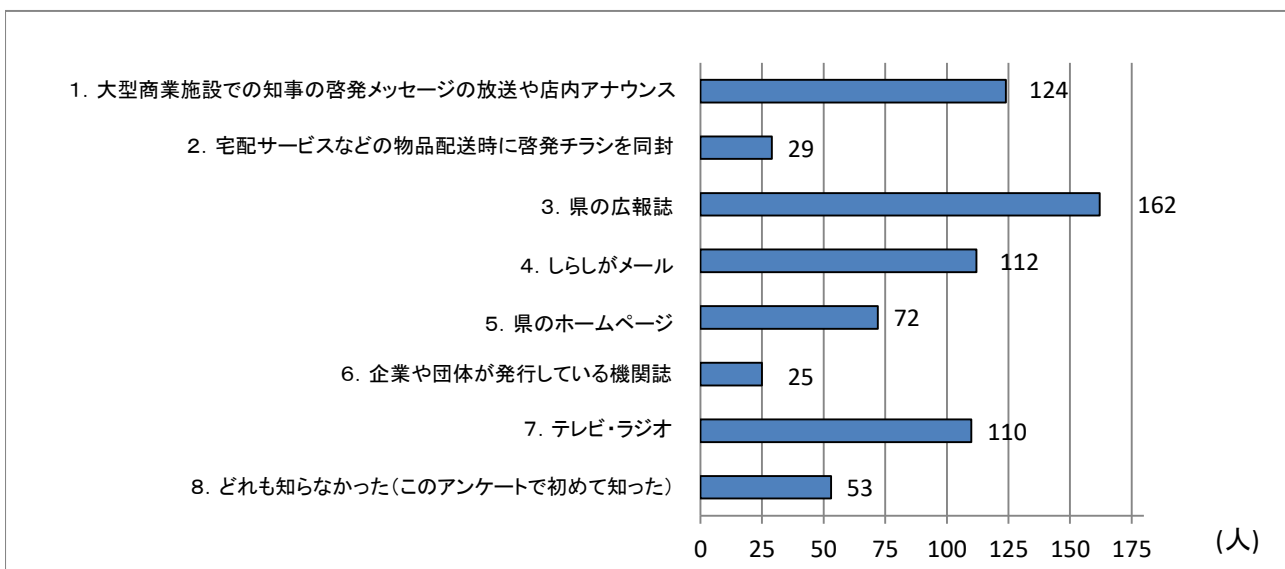
項目	人数(人)	割合(%)
1. 県・市町の広報誌やホームページによる啓発	12	13.5
2. 県民の皆さんに防犯情報などをメールでお届けする「しらしがメール」による情報発信	39	43.8
3. 新聞・テレビによる啓発	40	44.9
4. 自治会・子ども会・老人会など、各種団体への防犯出前講座	33	37.1
5. 各種イベントによる防犯ブースなどの出展	14	15.7
6. その他	17	19.1





問15. 今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、非接触の啓発も行っていますが、どれを知っていますか。(「8. どれも知らなかった(このアンケートで初めて知った)」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=352)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大型商業施設での知事の啓発メッセージの放送や店内アナウンス	124	35.2
2. 宅配サービスなどの物品配送時に啓発チラシを同封	29	8.2
3. 県の広報誌	162	46.0
4. しらしがメール	112	31.8
5. 県のホームページ	72	20.5
6. 企業や団体が発行している機関誌	25	7.1
7. テレビ・ラジオ	110	31.3
8. どれも知らなかった(このアンケートで初めて知った)	53	15.1



問16. 安全なまちづくりに関して、御意見等がありましたらお聞かせください。(一部)

#### ◎特殊詐欺について

・高齢者を狙った特殊詐欺が後を絶たず、家族や地域で声掛けをして引っかからないように地域全体で取り組む。また、できるだけ町内の見回りをかねた散歩をして不審者がうろつけないような雰囲気のある町にすると効果的だと思います。

・振り込め詐欺を、行員や機械装置で未然防止された表彰等は、もっと大々的に報道されることを望みます。

・高齢者を狙った犯罪やネット、携帯電話に関係する犯罪が今後増えていくと思う。携帯電話等にハードのセキュリティ強化をして頂きたい。

・コロナ禍の状況を悪い方向に利用して、また新たな詐欺等の犯罪が増えないか心配しています。特殊詐欺等により、給付金をだまし取られたり、お年寄りを狙った犯罪が目立っていると思います。一人暮らしの高齢者や、母子家庭、父子家庭等、地域で見守れる活動をもっと一般の県民でも貢献できるような取り組みがしたいです。

・特殊詐欺が後を絶たない中、手口も巧妙化しており、思わぬつくり話に冷静さを失うことがあり得る。実際の手口をメール等でタイムリーに知らせる現在の取り組みは有意義であると思う。

#### ◎子ども・女性対象犯罪について

・DV、子供虐待が増えているように感じます、これも注意したいです！

・地域の関わりがとても子どもの安全には重要だと思いますが、学校では、見知らぬ人とは話さないという指導を受けており、スクールガードさんを見ても避けるような態度が見受けられるとお聞きしました。なかなか小さな子どもにはその分別がつかないように思います。そのためにも、子供の安全についてはもう少しガイドラインをしっかりと決めたらよいと思います。

・子どもの身になにか起こらないか、それが一番心配です。登下校時のボランティアさんの見守りはとてもありがたいです。

#### ◎防犯カメラや防犯灯の設置等の環境整備について

・他府県と比較し、防犯カメラ・防犯灯が少ない県だと思います。やっとな、通学路に道路照明等が設置され、父兄を始め関係者は、安心されております。

・防犯カメラの増設が、犯罪減少に効果的であると考えます。

・防犯カメラの台数を増やした方が良い。個人宅で設置する場合、自治体からの補助があれば。暗い場所での街灯有無の調査。

・安全で啓発に効果があるのは、設備費はかかるけど防犯カメラの設置を距離間ごとに設置する。不可能に近いけど、商店や企業、会社の協力も得て設置することが出来れば治安の安全、安心感は増すのではないかと思います。

・防犯カメラを街中の商店に補助を出して設置を願う。滋賀で犯罪をしても死角がないと諦められるほどの物がないと、絶対は永遠に来ない。

・各町内の道路に少なくとも2～3台の防犯カメラの設置が望ましいと思います。(因みに我が町内会では会プライバシーとの兼ね合いがあり難しいが、防犯カメラ等の設置が犯罪抑止力になると思う。)

#### ◎自助・共助・自主防犯活動の取組について

・居住地におけるオレオレ詐欺や強盗、押し込み販売等の犯罪を未然に防ぐために自治会単位でお互いに見守り合う「共助」の仕組みづくり、ネットワークづくりの構築が効果的と思慮する。

・地域住民同士のつながりの強化が必要。

・自治会を通して、市内で発生している事件の紹介されていてとても役立つ。ただ期間集約的になっているのもっと速報的な要素を加味してもらえればより役立つように思う。

・防犯活動には、老人の協力が欠かせません。老人会や自治連合会、体操教室などにかかわって、活動の輪を広げることが望めます。

・日頃から住民同士のコミュニケーションを密にし、知らないものが付近をうろついていた、知らない車が止まっていたなどの情報を共有する。

### ◎警察の取組について

- ・警察署による警ら活動を積極的に実施することが最も効果的と思う。
- ・犯罪の記録、履歴を、マップにして開示する事で、危険意識が高まるのでは無いか？
- ・近所の公園で子どものキックボードがもちさられることが、何度かありました。不特定多数の子どもの物だったので気持ち悪かったです。そのような時には、警察や市で見回りを強化してもらえると安心です。
- ・空き家が増えてきたので警察による見回りをしていただくことを願っています。
- ・警察からの巡回訪問を増やしてほしい。地元警察署とのコミュニケーションをふやすと、お互いに情報交換ができるので。

### ◎県、市町等の行政の取組について

- ・何か事件が起こってから対策をするのではなく、事件、事故が起こらないような対策ができている街でありたいと願います。
- ・自治会で把握してても、個人情報だって理由でなかなか個々の家庭事情がわからず、近所での問題家族の情報がシェアされない。
- ・いつも思うのですが、被害者になる可能性のある側への注意喚起も大切ですが、犯罪者になる側への教育こそが何よりも重要であると考えます。犯罪者は一朝一夕で生まれるわけではありません。生い立ち・周辺環境が大きい要因と考えます。

### ◎広報啓発・情報発信について

- ・犯罪、といわれると「そんな大事はなかなか身近で起きることはないだろう」と思ってしまう。なので、駅やショッピングセンター、平和堂などでの告知は効果があるような気がします。
- ・犯罪が減ったことと、更に減らすために注意することを、セットで広報すると、住民の安心感が一層高まるように思われる。昨年度の犯罪認知件数が減っていることは知らなかった。
- ・自治会への参加率が下がり我が家の廻りはほとんど自治会に未加入です。市民便りや回覧板などでの情報の共有もなく身近な情報が入りづらい状態です。まちづくり、特に安全に関しては近隣との協力や情報の共有が不可欠だと考えますが自治会への加入率が下がり続ける昨今においては行政のより積極的な広報が必要と考えます。
- ・ショッピングモールや駅前などで知事やキャラクターを使っての活動を見かけることがありますが、キャラクターは子どもだけでなく、お年寄りにも人気があるのでただ資料を配布するのと違い、効果的だと思います。知事によるアナウンスも「三日月大造です」の一言にハッと引きつけられます。普通のアナウンスより耳を貸す人はかなり多くなっていると思います。

### ◎防犯意識、安全なまちづくりについて

- ・防犯活動は一部の方がやるのではなく、みんなが連携を深めて情報交換をすることが大事だと思います。
- ・警察の警邏には限界があるので、やはり地域の住民が安心安全な街作りの意識を高めて住民間でしっかりと連帯を強めてことに当たらなければならないと思う。
- ・普段から近所の付き合いや、情報共有が大切だと思う。

### ◎その他

- ・コロナ禍で収入が減っている方が多くなると、経済的な不安から犯罪が増えたり、犯罪とまでは行かなくてももいざこざが多くなったりするのはと不安に思っています。犯罪になる前に止める、そんなあたたかい地域がある滋賀県であって欲しいです。
- ・コロナ禍で接触を気にしながら行動するあまり、自分以外のことに気がまわらなくなっています。周囲を気にするよりも、まずは接触をしないようにすることに重点を置いているのが現実です。安全なまちづくりは大切ですが、それよりもコロナとの共存共栄に心が奪われてるので、それ以外に目が向かないのが現状です。